

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社 やまねメディカル 上場取引所 東  
 コード番号 2144 URL http://www.ycmd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 小澤 眞 TEL 03 (5201) 3995  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,662	△4.2	181	835.4	173	598.6	102	486.5
25年3月期第2四半期	2,778	△0.5	19	△92.9	24	△92.1	17	△89.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	9.34	—
25年3月期第2四半期	1.59	—

(注) 当社は、平成25年10月1日で普通株式1株を100株に分割する株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,589	1,509	42.0
25年3月期	3,605	1,439	39.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,508百万円 25年3月期 1,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	300.00	300.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末の配当金については、平成25年10月1日付で普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は、300円00銭(期末配当金300円00銭)となります。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	2.6	175	63.5	150	45.2	85	85.8	7.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益(通期)については、平成25年10月1日で普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	11,330,000株	25年3月期	11,330,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	379,900株	25年3月期	379,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,950,100株	25年3月期2Q	10,962,937株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株を100株に分割する株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、デフレからの脱却と経済再生を目指す大胆な金融緩和の発動と成長政策の効果が発現するなかで、個人消費及び企業の設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど、内需を中心に緩やかな景気回復基調のうちに推移いたしました。

この間、介護業界においては、高齢社会の進行に伴う介護ニーズの増大を背景として、介護市場は持続的な成長の基調を維持いたしました。また、制度・行政面においては、2025年を展望したわが国の社会福祉体制の基本的設計図としての「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、様々な取組みが進行しております。

このような状況のもと、当社は介護保険法の基本精神に立脚して、介護を要する高齢者の「尊厳の保持」を肝に銘じつつ、ご利用者との心の「つながり」と「安全・安心」を特に重視したサービスの提供により、ご利用者及びご家族のご満足と信頼をさらに増進することを通じて、介護サービスの商品としての品質向上に注力しております。

また、前年度の報酬改定による介護単価の下落等に対して、コスト管理の徹底と生産性向上に集中的に取り組ましました。

さらに、「地域包括ケアシステム」の構築という国家的優先政策課題を踏まえた事業変革を通じて、高齢社会の多様なニーズに対応できる社会インフラとしての「福祉拠点」の機能を果たすことを志向しつつ、厳しい業界環境のなかでの業容拡充の道を切り拓くことに取り組んでおります。

その一環としてのサービス付き高齢者向け住宅事業につきましては、平成25年6月に「なごやかレジデンス」の稼働を開始し、当第2四半期累計期間中に合計6箇所を開設いたしました。

この間、直営通所介護事業については、上記サービス付き高齢者向け住宅に併設した「デイサービスセンターなごやか」を6箇所開設し、また、単独の施設を1箇所開設いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末において85箇所の直営デイサービスセンターを展開しております。

また、通所介護のフランチャイズ事業においては、当第2四半期累計期間中に「ホームケアセンター」の12施設の増加があった結果、当第2四半期会計期間末におけるフランチャイズによるデイサービス事業所は36箇所となっております。

なお、当社は今後の介護周辺諸サービス業等を展開することを目的として、平成25年9月5日付で子会社の株式会社やまねライフを設立いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における当社の営業収入は2,662,132千円（前年同期比4.2%減）、営業利益181,739千円（同835.4%増）、経常利益173,834千円（同598.6%増）、四半期純利益102,296千円（同486.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は3,589,914千円となり、前事業年度末に比べ15,973千円の減少となりました。これは、主に営業未収入金や敷金及び保証金が増加した一方で、現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

負債合計は2,080,194千円となり、前事業年度末に比べ85,732千円の減少となりました。これは、未払法人税等が増加した一方で、社債の償還や長期借入金の返済による減少があったことによるものであります。

純資産合計は1,509,719千円となり、前事業年度末に比べ69,759千円の増加となりました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、1,038,285千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、115,663千円（前年同期は4,855千円の資金使用）となりました。

これは、主に、税引前四半期純利益173,766千円や減価償却費43,172千円の計上等による資金増加が、売上債権の増加による資金減少45,214千円等を上回ったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、104,478千円（前年同期比87,818千円増）となりました。

これは主に、サービス付き高齢者向け住宅事業の展開に伴う敷金の差入による支出71,980千円や子会社(株)やまねライフ設立に伴う株式取得のための支出20,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、150,856千円（前年同期比246,482千円減）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入120,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出154,333千円、社債の償還による支出75,100千円、配当金の支払32,850千円等により資金が減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、新規事業として平成25年6月より開始いたしましたサービス付き高齢者向け住宅事業の当事業年度の開発計画は、現状不確定の要素が多く、収益面でも多分に不透明な面があるため、現時点では平成25年5月1日付「平成25年3月期決算短信」にて公表いたしました「平成26年3月期の業績予想」からの変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,177,957	1,038,285
営業未収入金	873,974	919,189
その他	170,960	191,989
貸倒引当金	△7,968	△10,427
流動資産合計	2,214,924	2,139,037
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	841,635	816,169
その他(純額)	85,596	74,596
有形固定資産合計	927,232	890,766
無形固定資産		
投資その他の資産		
関係会社株式	—	20,000
敷金及び保証金	384,685	460,177
その他	72,386	72,694
投資その他の資産合計	457,071	552,871
固定資産合計	1,390,964	1,450,877
資産合計	3,605,888	3,589,914
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	150,200	150,200
1年内返済予定の長期借入金	308,666	348,666
未払金	339,918	321,320
未払法人税等	8,931	77,119
賞与引当金	26,082	28,665
その他	99,426	75,471
流動負債合計	933,224	1,001,441
固定負債		
社債	409,800	334,700
長期借入金	657,034	582,701
退職給付引当金	2,737	3,677
資産除去債務	118,572	120,909
その他	44,559	36,765
固定負債合計	1,232,703	1,078,753
負債合計	2,165,927	2,080,194
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	304,375	304,375
資本剰余金	254,375	254,375
利益剰余金	1,003,892	1,073,338
自己株式	△123,682	△123,682
株主資本合計	1,438,959	1,508,406
新株予約権	1,000	1,313
純資産合計	1,439,960	1,509,719
負債純資産合計	3,605,888	3,589,914

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収入	2,778,010	2,662,132
営業原価	2,234,482	2,005,561
営業総利益	543,528	656,571
販売費及び一般管理費	524,099	474,831
営業利益	19,428	181,739
営業外収益		
受取利息	87	440
助成金収入	4,680	86
受取手数料	361	222
処遇改善交付金	16,926	—
雑収入	2,751	2,272
営業外収益合計	24,807	3,022
営業外費用		
支払利息	8,024	8,886
社債発行費	3,517	—
コミットメントライン手数料	4,504	—
雑損失	3,305	2,040
営業外費用合計	19,351	10,927
経常利益	24,884	173,834
特別利益		
受取和解金	12,385	—
特別利益合計	12,385	—
特別損失		
損害賠償金	948	68
リース解約損	721	—
減損損失	12,231	—
特別損失合計	13,900	68
税引前四半期純利益	23,368	173,766
法人税、住民税及び事業税	9,600	67,500
法人税等調整額	△3,674	3,969
法人税等合計	5,925	71,469
四半期純利益	17,443	102,296

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	23,368	173,766
減価償却費	50,887	43,172
長期前払費用償却額	7,866	4,219
社債発行費	3,517	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	828	939
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,123	2,459
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,714	2,583
受取利息	△87	△440
受取和解金	△12,385	—
支払利息	8,024	8,886
支払保証料	2,012	—
コミットメントライン手数料	4,504	—
有形固定資産除却損	—	410
リース解約損	721	—
減損損失	12,231	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,135	△45,214
その他	△34,338	△67,117
小計	7,178	123,664
利息の受取額	87	440
利息の支払額	△8,102	△8,802
違約金の支払額	△721	—
和解金の受取額	1,000	—
法人税等の還付額	6,385	5,689
法人税等の支払額	△10,683	△5,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,855	115,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
子会社株式の取得による支出	—	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△2,169	△2,220
無形固定資産の取得による支出	△3,500	△1,980
敷金及び保証金の差入による支出	△8,487	△71,980
敷金及び保証金の回収による収入	3,691	741
長期前払費用の取得による支出	△5,235	△12,746
その他	△960	3,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,660	△104,478
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	120,000
長期借入金の返済による支出	△71,400	△154,333
社債の発行による収入	196,482	—
社債の償還による支出	△398,700	△75,100
リース債務の返済による支出	△10,737	△8,573
コミットメントライン手数料の支払額	△1,367	—
自己株式の取得による支出	△1,971	—
配当金の支払額	△109,645	△32,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,338	△150,856
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△418,855	△139,671
現金及び現金同等物の期首残高	1,110,529	1,177,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	691,673	1,038,285

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、「通所介護事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。